ITA\_システム構成/環境構築ガイド

OpenStack-driver編

*－*第1.3版*－*

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

* LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
* Oracle、MySQLは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
* MariaDBは、MariaDB Foundationの登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

# 目次

[1 目次 2](#_Toc14438882)

[2 はじめに 3](#_Toc14438883)

[3 機能 4](#_Toc14438884)

[4 システム構成 4](#_Toc14438885)

[5 システム要件 5](#_Toc14438886)

# はじめに

本書では、ITAでOpenStackオプション機能（以下、OpenStack driver）として運用する為のシステム構成と環境構築について説明します。

ITA OpenStack driverを利用するにあたっては、ITA基本機能が構築済であることが前提です。ITA基本機能の構築に関しては、「システム構成／環境構築ガイド\_基本編」をご覧ください。

# 機能

OpenStack driverは以下の機能を提供します。

**表 1 機能名**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 機能名 | 用途 | WEB  コンテンツ | BackYard  コンテンツ |
| 1 | OpenStack  driver | ITAからOpenStackを介して仮想マシンの構築を行います。 | ○ | ○ |

# システム構成

OpenStack driverのシステム構成は、ITAシステムと同じです。

ここでは、ITAシステムの推奨構成であるバランスHA型構成とOpenStackの連携を図示します。

※ ここでは省略した構成図を記載します。詳しくは「システム構成／環境構築ガイド\_基本編」を参照してください。

OpenStack

ITAシステム/OpenStack driver

Webサーバ [ACT]

Webサーバ [ACT]

Web

機能

Webサーバ [ACT]

DB接続情報

**OpenStack**

**driver**

ロードバランサー

AP/DBサーバ [SBY]

BackYard

機能

AP/DBサーバ [ACT]

DB

セッション

管理

アップロード

ファイル

DB接続情報

DBMS

構成対象機器

仮想マシン

仮想マシン

**Open**

**Stack**

**driver**

仮想マシン

外部設置データ

# システム要件

OpenStack driver はITAシステムのシステム要件に準拠するため、「環境構築ガイド（基本編）」を参照してください。

ここではBackYard、OpenStackの必要要件を記載します。

●BackYard

**表 3 BackYardシステム要件**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パッケージ** | **バージョン** | **注意事項** |
| PHP | 5.6 |  |

●OpenStack

**表 4 OpenStackシステム要件**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パッケージ** | **バージョン** | **注意事項** |
| Apache | 2.2系 / 2.4系 | ITAシステムと異なるサーバで運用の場合に必要です。 |